

まち“だ”づくりカレッジ

町田で地域の困りごとに取り組む団体のための 未来の計画づくり講座

めざす地域や社会の姿を見据えた活動の「計画」を立てることをゴールとし、基本的な知識を学ぶレクチャーに加え、グループワークやディスカッション、毎回の提出課題と発表など、参加型・対話型のセミナーにより学びを深めることができます。さらに、町田市地域活動サポートオフィススタッフが伴走支援を行います。

期 間 10/18(金)、11/22(金)、12/20(金) 13時～17時
対 象 地域の困りごとに取り組む町田市内の団体
参加条件 活動実績1年以上(準備期間を含む)/全回参加を推奨、希望回のみ参加可/1団体2名以上の参加推奨
参 加 費 3,000円(1回のみ参加は1,000円)

【プログラム】

第1回 10/18(金) 時間 13時～17時
場所 町田市役所会議室
3年後の未来を考える

第2回 11/22(金) 時間 13時～17時
場所 町田市民フォーラム会議室
活動のパートナーとお客を考える

第3回 12/20(金) 時間 13時～17時
場所 町田市民フォーラム会議室
事業計画を考える

第4回 1月下旬予定
未来の計画の発表会(一般公開)

プラスワンセミナー + 受講者以外も参加できます!
ボランティアが活躍する活動づくり基礎講座

10/30(水) 時間 14時～16時半
場所 町田市民文学館こぼらんど

詳細はホームページのイベントページをご覧ください。

参加者
募集中

【講師】



長浜 洋二
町田市地域活動サポートオフィス
事業統括ディレクター

申し込み方法

申し込みフォームから
QRコードをアクセスし
必要事項を入力して
お申し込みください。

メールから
info@machida-support.or.jp
参加セミナー・参加回の名前、参加
者のお名前、ご所属、連絡先メール
アドレスをお知らせください。

Event Schedule

今年度のイベントスケジュールです。
詳細はホームページを
チェックしてください。

2019年

09/18(水) 19時～21時
@祥雲寺
まち“だ”づくりサロン
「第1回 社会的孤立について
若者支援の視点から」

10/15(火) 14時～16時
@町田市民文学館こぼらんど
市民活動のための
労務のきほんセミナー

10/18(金) 13時～17時
@町田市民フォーラム会議室
Pick Up まち“だ”づくりカレッジ
「3年後の未来を考える」

10/30(水) 14時～16時半
@町田市民文学館こぼらんど
Pick Up まち“だ”づくりカレッジ
プラスワンセミナー
ボランティアが活躍する
活動づくり基礎講座

11/15(金) 14時～16時半
@町田市役所おうえんルーム
地域でNPO/市民活動が
果たす役割について知る、
考えるセミナー

11/22(火) 13時～17時
@町田市民フォーラム会議室
Pick Up まち“だ”づくりカレッジ
「活動のパートナーと
お客を考える」

12/20(火) 13時～17時
@町田市役所会議室
Pick Up まち“だ”づくりカレッジ
「事業計画を考える」

2020年

1月下旬 まち“だ”づくりカレッジ
Pick Up 「未来の計画の発表会(公開)」

創刊号

Message

創刊にあたってのご挨拶

はじめまして! 町田市地域活動サポートオフィスです。
私たちは4月25日にスタートしたばかりの新しい組織です。

「まちの困りごとみんなが楽しく取り組み、自分らしくいられる「まちだ」づくり」をビジョンとして掲げ、
町田市で地域の困りごとに取り組む皆さんの「よき「伴走者」であり、よき「翻訳者」であること」めざしています。
「町田市全体がオフィス」の想いで町田の各所に足を運び業務に取り組んでいます。

具体的には「つくる」(立ち上げ支援)、「ささえる」(経営支援)、「つなげる」(協働支援)、「かえる」(変革支援)をミッションに団体の訪問、
各種セミナーやイベントの企画・開催、個別相談への対応をしております。
設立以降、6回のセミナーを開催しました。
また個別相談では、活動資金、NPO設立、広報等、多様なご相談を頂いております。
ご相談、セミナーともに、参加者・相談者の方と共に考えることを大事にしています。
今後は、組織と組織、組織と人をつなぐ役割も力をいれていきたいと思っています。

この「町田市地域活動サポートオフィス通信」では、

1. 町田で活動しているNPO法人や市民活動団体のご紹介
2. サポートオフィス主催のワークショップやセミナーの活動報告
3. 今後、開催予定のイベント情報のご案内

…などをお伝えします

手に取ってくださった皆さまにとって
新しい刺激や活動のヒントになればと願っております。
ぜひ毎月楽しみにしていただけますと嬉しいです。
これからどうぞよろしくお願いいたします!

最新のイベント・セミナー
開催情報は裏表紙を
チェックしてください!

町田には魅力的な
活動団体が
たくさんあります!

ホームページや
SNSでも最新情報を
掲載しています!
ぜひチェックを!



Now!

町田市地域活動サポートオフィスの近況

3月23日 開設に先立ち
「開設記念シンポジウム」を開催しました。



4月25日 開所式を開催しました。



7月11日 まちカフェ! 実行委員会
ワークショップの進行役を担当しました。



ホームページでも活動レポート更新しています。是非ご覧ください!





Report | 団体訪問レポート

Report
01

NPO法人 顧問建築家機構

建築とまちづくりで地域に貢献する 専門家集団が様々な相談に対応！

サポートオフィスの入っている市民フォーラムのすぐ近くにある顧問建築家機構さんの事務所へ伺ってきました！専門家の皆さんが公平中立な立場で、建築や土地・周辺環境に関する様々な相談にわかりやすく親切にアドバイスしてくれます。

写真の壁に貼ってある町田市の地図に沢山のピンがついていました。これは市内の集会施設の場所なのです。改めて見ると、その数の多さに驚きますね！



団体からのメッセージ

今年もまちづくりシンポジウムを「まちだ100年ライフシティ構想」と題して10月17日(木)18時から市民ホール第4会議室で開催。是非ご参加を！



団体プロフィール

名称 NPO法人 顧問建築家機構
所在地 町田市原町田4-9-16 第一ビル3階
電話番号 042-723-6866
代表理事 前島 正光

Report
02

NPO法人 クローバーの会

「障がいがあってもなくても社会の中の一員として育つ」を实践

木曽住宅の中に事業所をかまえ就労支援に取り組まれてるクローバーの会さんにお伺いしました。1988年にスタートし、活動当初から掲げる「障がいがあってもなくても社会の一員として育つ」という理念を一貫しつつ、仕事だけでなく学び続けることを大切にされた取り組みを実践されています。

こだわりの布ぞうりは、一足に着物の布を約一反たつぷり使うので、厚手でしっかりした履き心地。市内各所でのイベントや、月一回の事務所でのバザー、小田急町田駅にある「まちだ名産品の店 心和」などでも販売しています。



団体からのメッセージ

クローバーの会では障がいをお持ちの方が家庭的な雰囲気の中で布製品づくりに励んでいます。また音楽活動や社会体験も盛んです。地域のイベント情報をお待ちしております。



団体プロフィール

名称 NPO法人 クローバーの会
所在地 町田市本町田2507-4
電話番号 042-791-3357
理事長 堀江 さと子

Report
03

特定非営利活動法人 町田ハンディキャブ友の会

市内で移動困難者の支援活動を35年！

町田ハンディキャブ友の会では、現在6台の車・18名の運転手の方で400名の移動を支えています。今回は長年の歴史を振り返りつつお話を伺いました。バリアフリー概念のない時代から当事者の方と取り組まれてきたサービス、阪神淡路大震災の際に現地で移動支援に取り組まれたお話など、日本の福祉制度と市民社会の歴史が重なりたいへん興味深かったです。交通の問題は、今後の日本社会でますます重要な社会課題となります。こうした長い民間の活動の知恵を活かしていくことが求められていますね。



団体からのメッセージ

現在所有する福祉車両は、第一種普通免許の方でも1日～2日の講習会を受講していただくだけで運転できます。「空いた時間にちょっと運転」詳細は事務局まで。



団体プロフィール

名称 特定非営利活動法人 町田ハンディキャブ友の会
所在地 町田市原町田4-24-6 セリがや会館内
電話番号 042-721-5721
理事長 石井 章夫



Activity | 活動報告

今回紹介したセミナー以外にもこれまでに開催したセミナーのレポートは町田市地域活動サポートオフィスのホームページに掲載しています。ご関心のある方はそちらもチェックしてください！

Activity

01 意味のない会議に★さようなら★セミナー

7月31日(水)
町田市市民文学館ことばらんど

POINT! 会議では参加者の関係性や感情の動き、表情、しぐさ、雰囲気、力関係など目には見えづらい”プロセス”が大事

会議は”コンテンツ”ではなく”プロセス”が大事であることを踏まえ、ファシリテーターの役割を解説しました。プロセス面に意識を向け、適切な介入を行い、会議参加者に自分ごと化してもらうことで**チームの成果が最大になるように支援**するのがファシリテーターの役割です。そのためには会議という日々の営みに対してもしっかりと場を設計し、振り返りを行うことが大事です。セミナーの際の質疑に「よい会議だったかどうかはどう判断する?」という問いがあり、講師から「会議の後に、参加者がどのような行動を取ったかが一つの判断基準」とお答えしました。その他当日の質疑回答をホームページのセミナーレポートに掲載しています。

memo

会議のポイント①会議の設計

Why	なぜ話し合うのか？ 議論の目的・狙い・理由は何か？
What	何を決めるのか？ どこまで決めるのか？ 到達点・ゴールは何か？
When	いつやるのか？ どのくらいの期間・時間やるのか？ 時間配分は？
Who	だれが参加するのか？ 参加者の役割分担はどうするか？
Where	どこでやるのか？ どんな雰囲気のところか？ どんな備品が必要なのか？
How	どうやって進めるのか？ 決め方・手順・ルールは？

参加者アンケート

- 会議意見を全員から聞く方法として勉強になりました。
- 質疑応答の時間がたっぷりありよかったです。
- ものすごくわかりやすく「ふ」に落ちました。使えます。あとは実践します。



Activity

02 市民活動のための『助成金セミナー』

7月10日(水)
町田市役所2階おうえんルーム

POINT! 助成金申請は、活動の目的や価値をきちんと伝えることが大切



memo

市民活動の財源との中で助成金があるような特徴を持った財源についてお話した後申請書の書き方について解説しました。グループワークでは、主人公の変化を4コマ漫画で描くことで活動の目的を整理することにチャレンジしていただきました。**コツは、たくさんの方からひとまず一人を主人公に決めて物語として表すこと。**助成金申請は、活動の目的や価値をきちんと伝えることが大切。単なる資金獲得と考えず、活動の価値を明らかにして、伝える機会ととらえていただくと良いと思います。オフィスでは、助成金申請の個別相談もお受けいたします。

参加者アンケート

- 助成金について何もわからなかったのが基本を知ることができてよかった。
- 助成金獲得の際の企画書の書き方(具体的に書く)は、他のことにも使えると思いました。
- ワークがありほかの参加者と話し合う、知り合う機会となりよかった。

